（一）號三百四十三第【木曜日】 JYOBAN SHIMBUN 昭和十年九月二十六日 （昭和七年六月十五日第三種郵便物認可）

日刊

予選新聞

發行所 新聞社 常務
九五町南町平縣島鳳
發行人 藤條伊次
一港町古濱名小縣島鳳

九月二十五日夕刊

一ヶ月 三十錢
一部 二錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢增
日曜祭日翌日休刊

縣議候補者の運命が投票日

今日 榮光あれ各候補者と言へ 又二名の否運者は誰？……

豫斷を宥さず互角の勢力

玉手箱の蓋、喜びか悲しみか？

もふ笑もくな

選擧改正法、に則し而も鳴物入りの嚴正下に施行された、縣會議員選擧も今日、廿五日が投票日である。

本郡定員六名の處八名の立候補あり、何れも一粒選の地方の名士、戰蹟を見るに勢力相伯仲し、在來の選擧と異り確票豫想も漫然として殆んど豫測し難く、候補者、關係者の苦惱も愛に有るので玉手箱の諺、其儘での如く、廿六日の開票日こそ悲喜は各所に起るであらう、意外な得票に雀躍する人？豫想を裏切られて悲憤する人、泣くも笑ふも一夜の運命！

平町投票所

前日既に準備が出來、正面には莊嚴なる祭壇が設けられ、有權者をして心を清め投票されることになり午前七時、數發の花火、警鐘、頃より投票所の入口で頑張つて居たので惜しくも優勝機關銃等合圖に開場されるや紺屋町吉田寅之輔氏が筆戰は破れ五番になつた、尚頭を承り續々と入場何れも緊張の色が見え約四千の有權者によつて「その一票」が茂作（關內）馬目雅治（野崎）井上花雄（赤津）草野良（小野）鈴木爲（草野）津田（小松）加藤順（齋藤）と云ふ陣立である午後六時には一般の投票箱が秘められる、採らぬ狸の皮算用も今晩一夜、明夕刻には全努力の精算がハッキリする。

江名町中之作

怒濤狂つて渚を洗ひ、風雨降に雷も太陽の顏がチラット見せ今日の選擧日を意義あるか亦勞働者達の棄權日の昇る頃より霽れて、今た昨夜も今朝は難なく晴れた、現在のところ期待を裏切られた立場をかたどり殊動の準備に忙殺されつゝも去る廿日農林省技手出張の機關兵六中坪永山勝美日到來、當局は目下それが古港志賀金太郎準備にとりかゝつてゐる。

右投票場六百五十三名の有右投票區の投票者は六百四權者中、不在投票百八名、名港、又中之作港と云ふべ今朝七時投票開始の門開く不在投票四十八、今朝第一や第一着にかけつけて投票着投票者は永崎居住湯本白したのが江名町眞福寺の住煉瓦勤務吉田嘉一郎さん、職增子亮照さん、續いて間七時五分入場段なく投票者が入場し午前十一時半調査三百三十名の十一時には二百五十名と云投票者あり。

赤井村に違反擧る

石城郡赤井村大森某外三名は廿四日正午頃、平署に呼び出され取調べを受けてゐるが某候補運動の爲めに個々面接をしたものらしい氏が早朝から押しかけ列席

サンマ船入港は本月末か

待ちうける各港

此の上なき期待の中に出漁サンマ船の入港を待ち詫びてゐた、小名濱以外の各港儘も日々各機關で報導の大漁地元サンマ船の活躍を聞きコウドリして歸港を待つの氣色見られたが遠洋漁業の彼等地元の船は亘隔の關係から水揚げを鹽釜に多くし江名、中之作兩港、淀泊中の各十數隻余のウタセ船は出

徵兵檢查

合格廿六名

兵種極まる

籤外は三名

小名濱町徵兵受檢者百六名中甲種合格者二十六名の兵種が此の度町役場宛通知になつた

兵種	受檢番號	住所氏名
歩兵	二三	古港渡邊 榮
	二六	上町立花 實
	三一	古港島田一郎
	四一	下町小野 正
	四二	中坪太田常吉
	五五	定西鈴木 正
	一一三	本町小松林 彌
	二一九	上町小野勝美
	一三一	横町上野喜三郎
	二三〇	上町笠原 勝
	二三三	下町竹中廣 雄
	二三四	本町小野數馬
騎兵	三	本町設樂秀 雄
	一一二	本町崎村岩藏
工兵	一三	古港山口善之助
鐵道兵	五	古港御代保
	一九	下町只野賢一
飛行兵	六	中坪鈴木 誓
航空兵	六	松の中馬上速
特務兵	一九	沖見鈴木太千雄
	二一	横町佐川 仁
	二七	船引飯塚清三郎
水兵	一	竹町小松政 雄
機關兵	六	中坪永山勝美

古港志賀金太郎

右以外の人と雖も町役場へ通告せられてをり、抽籤に、明札急川なるものは印特參の上町役場に申出ること、尙甲種合格者中籤外の者は三名であつた。

明日 小麥出荷

江名町に於る各部落の小麥共同出荷は明二十六日と豫め決定されてゐたが愈々期日到來、當局は目下それが準備にとりかゝつてゐる。

◇天氣豫報◇

小名濱氣象特報

今晩 南東風曇り驟雨模樣
明日 北西風曇後晴れ

氣壓＝七百五十二粍一

▼大波小波▲

政戰 泣くも笑ふも今日限り貧乏籤は何誰の頭上に落ちるやら……

×××

「今年の選擧は肅正のたの至つてヒッソリしたものだとの話 肅正は選擧民へ一種の恐怖を與へた

×××

官憲は鵜目鷹目隙があつたらと探し廻る まるで選擧民全部が不正する如く

×××

正而し肅正は一部分の選擧民のみ要することだ

定西鈴木 正 肅正の根源 立法の精神を一一三 本町小松林 彌 良く知るべし

×××

三一九 上町小野勝美 條文や言葉にのみとらはるゝ事勿れ

×××

秋の味覺をそゝるサンマ大漁貧乏人の食膳にも上る大衆的の魚？

×××

冷雨續いて不作免れず農家自力更生に努むるも叶はず天は自ら助くるものを困らす……

常磐論壇

大体に於て切果を攻めた選擧肅正。過去の選擧狀勢と今回の肅正選擧とを比較對照したなれば質に隔世の感に堪へないものがある。

今回は肅正即ち理想選擧の形式としての第一歩であり主唱者たる牛官睽內閣に於て初めて出來る事で嚴正公平なる取締りはかつて見ざる國民渦仰の焦點とも言ひ得る今回の選擧肅正實施は來春總選擧の豫備的試驗塲とも云ふから今回の結果を些細に調査して長を取り短を補ふと云ふになれば即ち理想を追ふ選擧肅正出來る事と心を強ふすものである

過顧三四十年の選擧法式は朝にある內閣の御都合主義で勝手の理由を附し殆ど壓迫選擧であつた。御用黨が慘敗すれば直に內閣の運命に至大なる關係があつたからで、故に理想を言ひば內閣は政黨に基礎を置かない超然たる內閣を組織し政策本位で國民にのぞみ議員が政策的に賛否を明白にする而して政府が破れた場合には總選擧に依り可否を國民に問ふべく所謂肅正下に總選擧を行ふ、これが理想的憲法の精神でなければならぬ、茲に理想的肅正選擧の第一階を踏出したが大体に於て好成績を揚げ當局としても大いに參考となり改廢肅正するに於ては來春の總選擧には眞の理想選擧を施行さるゝものとして欣快に堪へないものがある。

◇眼科專門
鈴木眼科醫院
本院 植田町
分院 小名濱町古港

歯科 一般外科
口腔外科
木田歯科醫院
小名濱町電話一〇五番

さゝめでうれる りん病藥 妙淋丹 十日分 三圓
販賣元 小名濱町中島本通り 電33番
シライシヤクホ

良品本位
學用品 和洋紙 卸商
魁文堂
平町才槌小路 電話三一三番
魁文堂郡山支店

一般外科（整形外科）
內科 花柳病科
草野醫院
小名濱町 電話一七三番

増車の御知せ
毎度御愛乘に預つて居ります馬目自動車ですが今回弟分として新フオードを増車しました。乘心地の好へ事は請合です。新車の御被露として九月一杯は御禮心地にて二割引の奉仕を致します。是非御試乘待上ます。
馬目自動車部
小名濱町 電話一三八番

呉服類は
樋口呉服店
小名濱町中島通り

ドライクリーニング
ウイットクリーニング
和洋丸洗 其他各種
森西洋洗濯店
店主 森昇
晴雨を問はず
湯本町驛前廿七番

高級紳士服
各中等學校制服調製
各種既製洋服
江島屋洋服店
平町二丁目 電話八九番（ヤキユウ）
是非當店へ御用命の程

撞球
ビリヤード
金波

內科 外科 小兒科 花柳病科
平川醫院
江名町 電話二六番

魚市場 鑛油部
三井生命保險株式會社 大正火災保險株式會社 代理店
磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內 電話一四四番

大衆食堂
時代の生んだ
金時バー
小名濱町中島通り 電話十二番

時計の御用は當店へ
流行界の南國の夜 ナンバーワン 夕日は落ちて
內山時計店
小名濱中島町 電話四十九番

版捷 石敏 版確 活精
長瀨芳郎印刷所
磐城座入口 小名濱中島通り